

レンジフードファン 取付説明書



もくじ

■ 安全上のご注意.....	2
■ 取り付け上のご願い.....	4
■ 取り付け前の調査と準備.....	5
■ 各部の名称・製品寸法図.....	6
各部の名称.....	6
製品寸法図.....	6
■ 取り付けかた.....	7~19
1. 付属品の確認.....	7
2. 取付準備.....	8
3. 本体の準備.....	9
4. 本体の取り付け.....	12
5. 電気配線.....	16
6. 運転準備.....	17
7. 試運転.....	19
8. お客様への説明.....	19

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

この説明書は再生紙を使用しています。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けを行ってください。

1B03 2881



安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意**：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



分解・修理・
改造禁止

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



取付注意

● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
火災などの原因となります。



取付注意

● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。



アースを
取り付ける

● アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。誤動作やスイッチ感度が悪くなる場合があります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。



取付注意

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電することがあります。



取付注意

● レンジフードファン本体および排気ダクトと可燃物との間は10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因となります。
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください。



取付禁止

● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと
火災・故障の原因となります。

安全上のご注意

警告



埋込禁止

- レンジフードファンの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります。



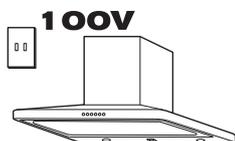
取付注意

- レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないようにすること
漏電した場合、発火するおそれがあります。



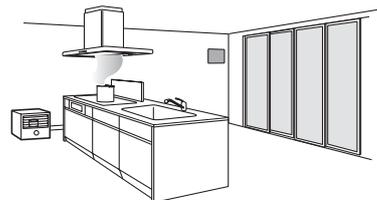
使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります。



取付注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

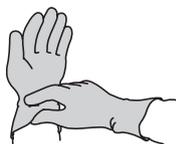


注意



手袋をする

- 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります。



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります。



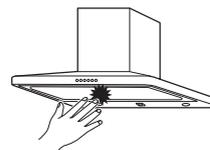
取付注意

- ファンや部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをするおそれがあります。



接触禁止

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります。



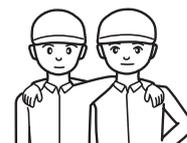
取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



取扱注意

- 作業は2人以上で行うこと
製品は 29kg の重さがあります。



取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。

- 大工事
(設置のための地下工事等)
- 配線工事
(コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等)
- 管工事
(ダクト配管およびレンジフードファンからのダクト接続等)

流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。

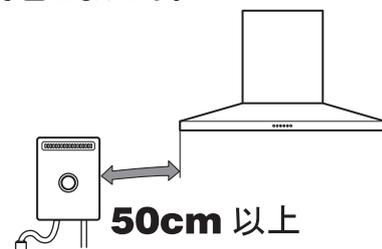
- ダクトの不燃処理について
 - ・ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
また調理器具はレンジフードファンの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は50Pa時400m³/h以上のものをご使用ください。
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。火災・故障の原因となります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

- ノイズが発生しやすい機器(照明、冷蔵庫)には本製品を接触させないでください。また、ダクト配管にも接触させないでください。なお、機器の設置位置については80cm以上離すことをおすすめします。
※ スイッチの誤動作や感度が悪くなる場合があります。

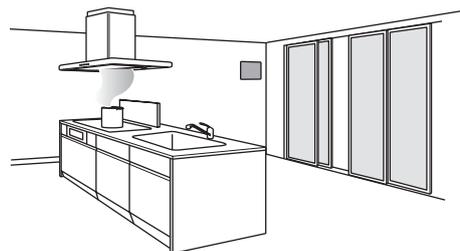
- 製品は調理器具の真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端が調理器具の真上80cm以上になるようにしてください。



- レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。



- 部屋の中央で料理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、より優れた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm²程度の空気取入口を設けてください。



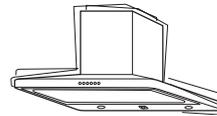
取り付け前の調査と準備

⚠ 注意



取付注意

- レンジフードファン本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強枠等に確実にすること
落下によりけがをすることがあります。
取付材が弱いと振動音が発生することがあります。



1 取付個所の強度確認

製品単体質量

29.0 kg

製品を支える強さが必要です。

レンジフードファンの本体は M10 または M12 の吊りボルト 4 本を使用し、天井内の梁などへ取り付けます。

吊りボルトは耐荷重 200kg/ 本以上となるように取り付けてください。

2 別売部品の準備

排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理器具の上面から製品の下端まで 80cm です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理器具の真上 80cm 以上必要となっています。(本製品にはグリスフィルターはありません。)

4 電源コンセント・ブレーカ

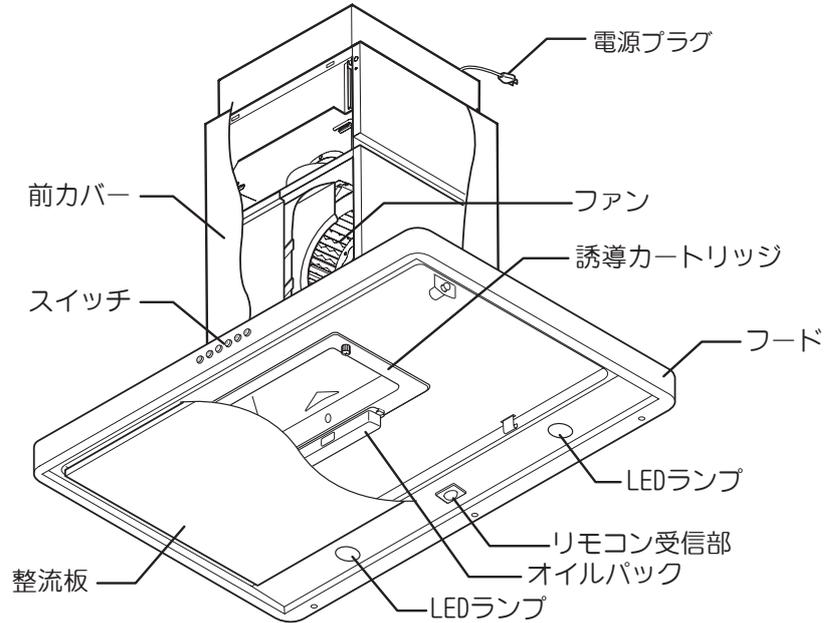
電源コンセント・ブレーカは専用のものを設置してください。(交流・单相 100V) コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お願い

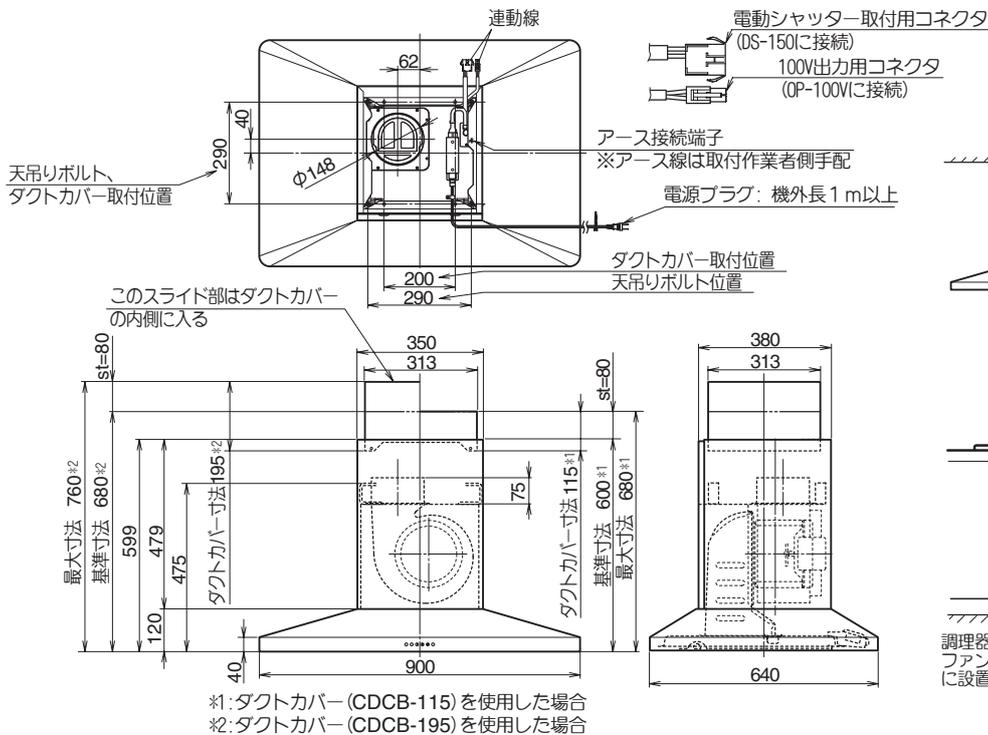
必ずアース(D種接地工事) をしてください。レンジフードファンが誤作動することがあります。

各部の名称・製品寸法図

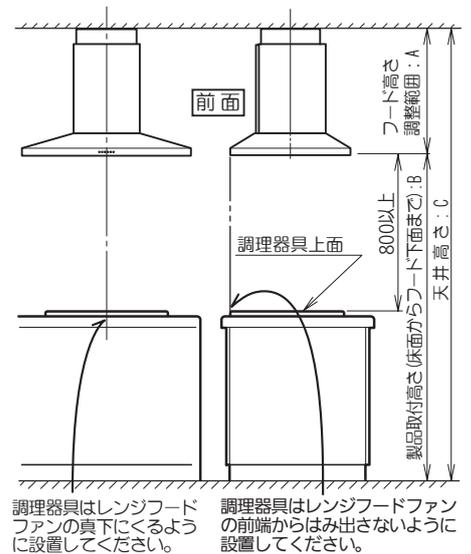
各部の名称



製品寸法図



レンジフードファン設置条件



注意 調理器具設置高さや天井高さの関係により、このレンジフードファンが設置できない場合があります。下表の製品取付高さや天井高さから適切なダクトカバーを選択してください。

ダクトカバー品番	製品高さ	設置寸法(例)		ダクトカバー品番	製品高さ	設置寸法(例)	
		製品取付高さ: B	天井高さ: C			製品取付高さ: B	天井高さ: C
CDCB-195*	680~760	1600	2280~2360	CDCB-115*	600~680	1600	2200~2280
		1650	2330~2410			1650	2250~2330
		1700	2380~2460			1700	2300~2380
		1750	2430~2510			1750	2350~2430
		1810	2480~2560			1800	2400~2480

ダクトカバー型名の「」には色記号が入ります。

※ 上記の設置寸法は一例です。上記以外の設置寸法の場合は、製品寸法図を参考にして、ダクトカバーを選定・調整してください。

取り付けかた

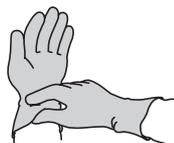
⚠ 注意



取扱注意

- 製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

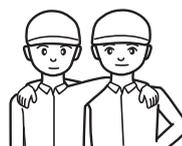
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



取扱注意

- 作業は2人以上で行うこと

製品は 29kg の重さがあります。

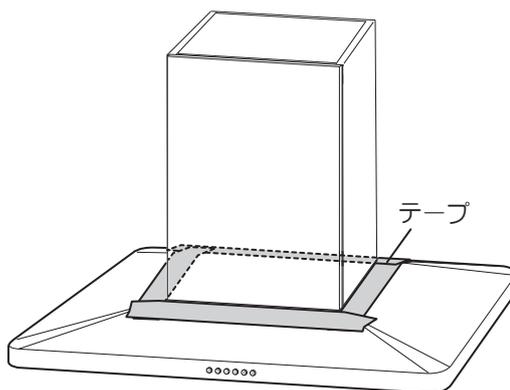
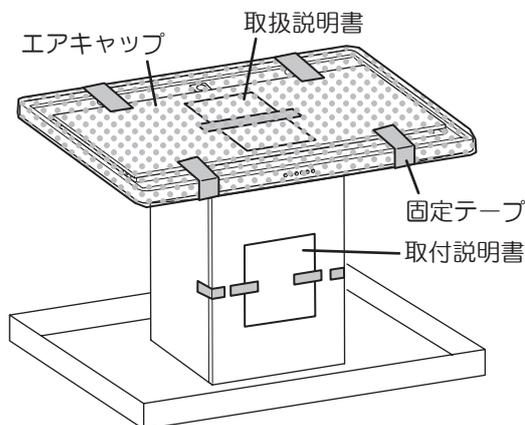


1. 付属品の確認

- 1 固定テープをはずし、エアキャップを取り除きます。前カバーに取付説明書、整流板に取扱説明書が貼り付けられていますので、それぞれ取りはずしてください。

お願い

フードに貼り付けられているテープ（4ヶ所）は全ての取付作業が終わった後に取りはずしてください。
また保護用エアキャップはキズ・破損防止のため、取付作業後に再度取り付けてお客様へお引き渡しください。



- 2 取付説明書が包装されているポリ袋から付属品を取り出し、右記の付属品一覧により不足がないか確認してください。

付 属 品



+トラスねじ
M4 × 10 (4本)

ダクトカバー（別売品）の取り付けに使用します。



ソフトテープ
(1本)

排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使用します。

取り付けかた

2. 取付準備

警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること

漏電した場合、発火したり感電することがあります。



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施工令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと

火災などの原因となります。



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になる所には取り付けないこと

火災・故障の原因となります。

注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと

感電および故障の原因になります（浴室用換気扇をお使いください）。

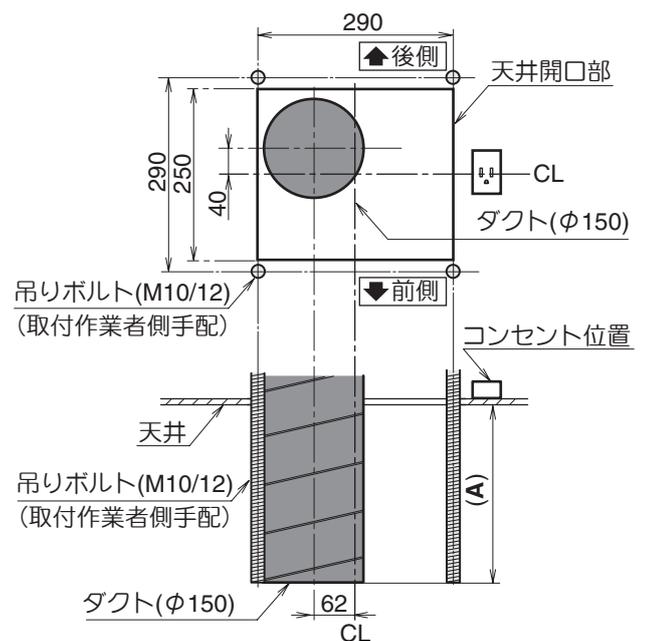
お願い

ダクト工事は管工事業者（法的有資格者）へ依頼してください。

1 右図を参照し、天井面にダクト穴を開けてください。また、天井開口部近くの補強桟または野縁等に専用コンセントを設置してください。

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードファンの上部に突き出すようにセットしてください。

3 M10 または M12 の吊りボルト（取付作業側手配）を 4 本、天井内の梁などの頑健な部分に固定します。固定ピッチは前後、左右とも 290mm です（製品寸法図参照）。



取り付けかた

お願い

天井面からのダクトと吊りボルトの突き出し長さ (A) は、製品総高さ (範囲 : 600 ~ 760mm) により異なります。製品寸法図を参考にして、次式により算出してください。

ダクトと吊りボルトの突き出し長さ (A) ± 10 = 「製品総高さ」 - 455
例)

製品総高さ	ダクトと吊りボルトの突き出し長さ (A)
600	145 \pm 10
650	195 \pm 10
700	245 \pm 10
750	295 \pm 10

(単位 : mm)

※「製品総高さ」寸法は、「使用するダクトカバー (別売部品)」、「製品取付高さ」および「天井高さ」によって異なります。製品寸法図欄のレンジフードファン設置条件を参考にして決定してください。

3. 本体の準備

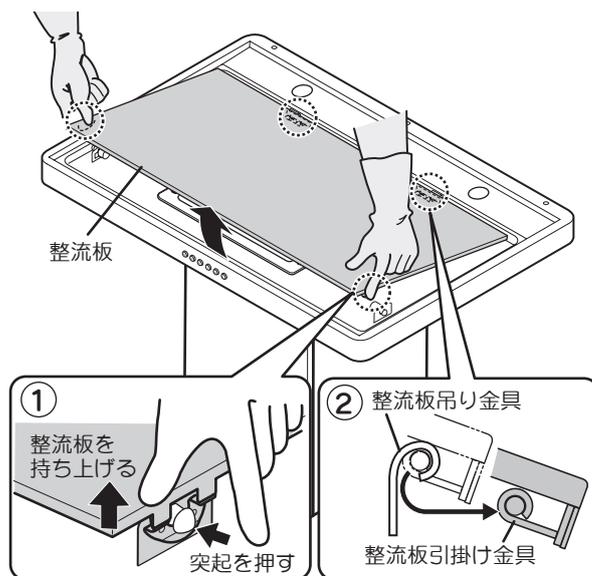
お願い

床面を傷つけないよう、保護シート等を敷いた上で作業を行ってください。

1 整流板をはずします。

※レンジフードファンを図のように整流板が上になるように置いて作業してください。

- 1) 整流板を固定しているテープを取り除きます。
- 2) 整流板の前側を固定している左右の突起を押し込みながら前側をゆっくりと持ち上げ、ロックをはずします。
- 3) 整流板を開いた状態で、整流板吊り金具から取りはずします。



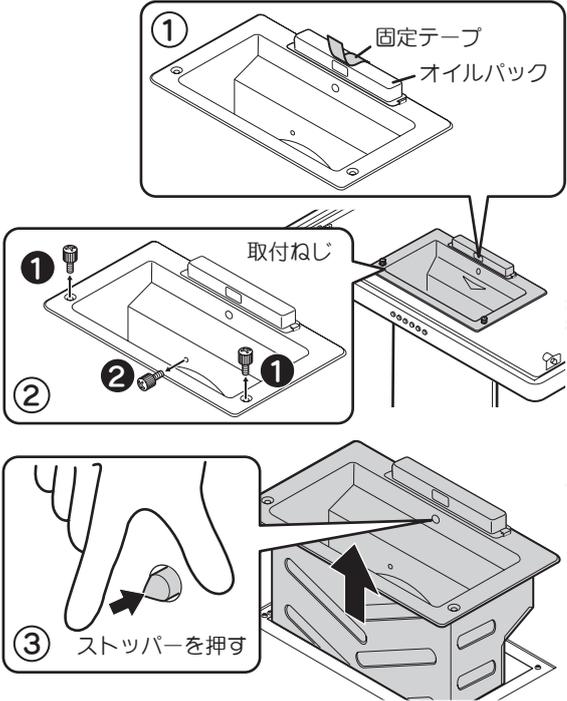
取り付けかた

2 誘導カートリッジをはずします。

- 1) オイルパックを固定しているテープを取り除きます。
- 2) 取付ねじを①、②の順番ではずします。
- 3) ストッパーを押しながらゆっくりと上へ引き出します。

お願い

誘導カートリッジはキズをつけないよう、ゆっくりと引き出してください。

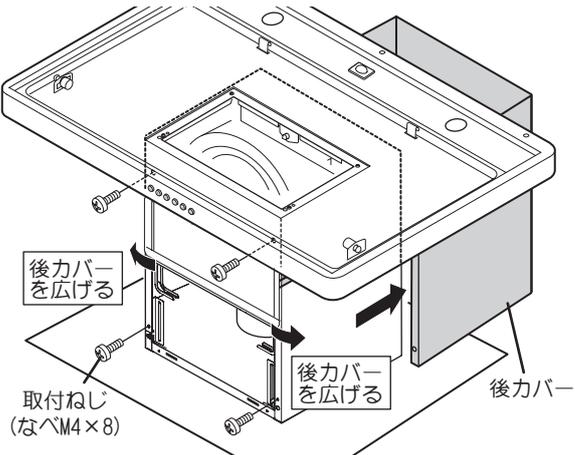
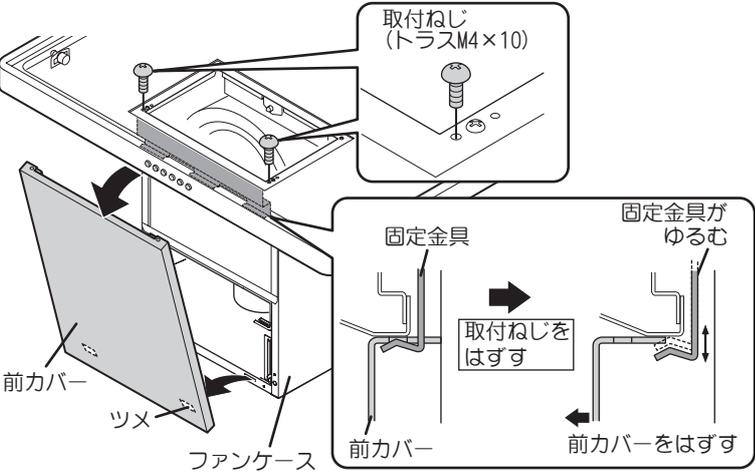


3 ファンケースの前カバー・後カバーをはずします。

- 1) 取付ねじ(トラス M4 × 10) 2本をはずすと前カバーの固定金具がゆるみ、前カバーがはずせるようになります。
斜め上へずらしながら、前カバーのツメ2ヶ所をはずして取りはずします。
- 2) 後カバーは取付ねじ(なべ M4 × 8) 4本をはずし、左右に少し広げるようにしながら後方へ取りはずします。

お願い

取りはずしたねじは、「6. 運転準備」にて再度使用しますのでなくさないでください。

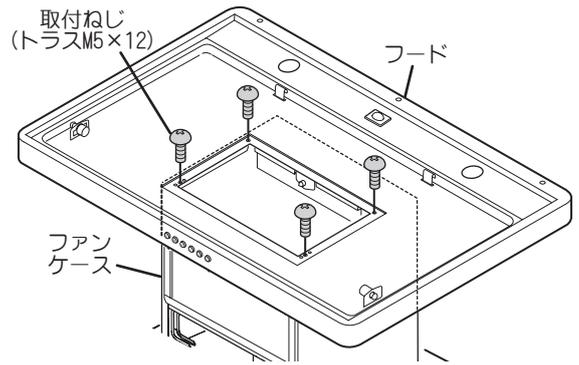


取り付けかた

- 4** フードとファンケースを分離します。
取付ねじ (トラス M5 × 12) 4本をはずします。

お願い

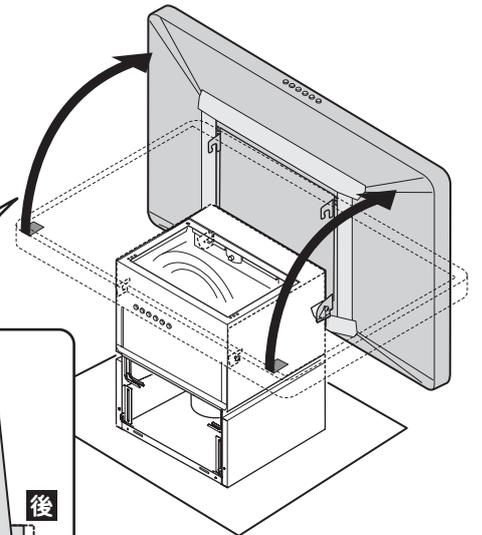
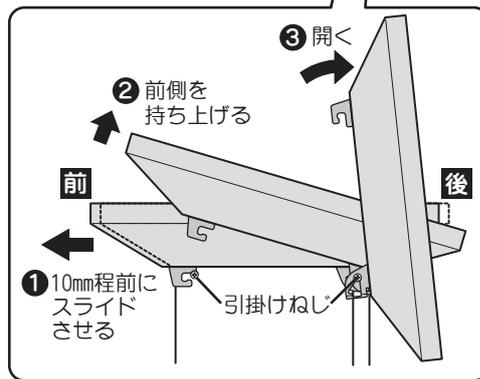
取りはずしたねじは「4. 本体の取り付け」にて再度使用しますのでなくさないでください。



- 5** フードを取りはずします。
1) フードを前方へ 10mm 程スライドさせ、前側を持ち上げフードを開きます。

お願い

フードを後に倒しすぎると転倒、破損の原因となります。



- 2) 電気配線のコネクタ4ヶ所をはずします。

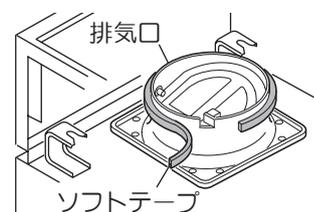
お願い

コネクタをはずす際はコネクタ部分を持ち、ツメを押しながら抜いてください。(コードを持って引き抜かないでください。)

- 3) フード奥側の引掛け金具をはずしながらフードを上を持ち上げ、ファンケースからはずします。



- 6** ソフトテープを貼り付けます。
ファンユニットを上下に 180° 回転させ、排気口にソフトテープを貼り付けます。



取り付けかた

4. 本体の取り付け

**注意**



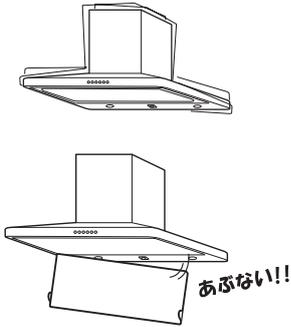
取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



取付注意

- 部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



1 レンジフードファンの固定位置を決めます。

- 1) 右図を参考にして、次式によりマーカ位置 (X) の値を算出してください。

$$X = \text{「製品総高さ」} - 475$$

※ 「製品総高さ」寸法は、「使用するダクトカバー（別売部品）」、「製品取付高さ」および「天井高さ」によって異なります。製品寸法図欄のレンジフードファン設置条件を参考にして決定してください。

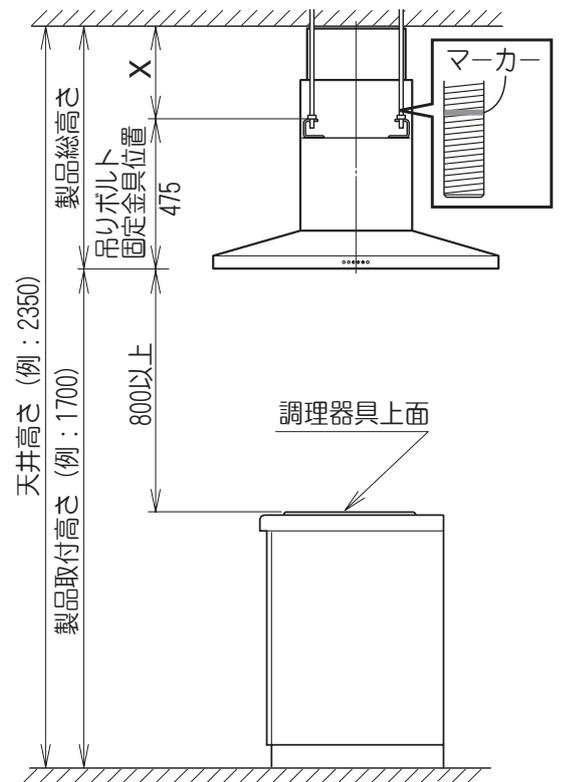
例：製品取付高さが 1700mm、
天井高さが 2350mm の場合
(製品総高さ = 650mm)：

$$X = 650 - 475 = 175$$

天井からのマーカ位置 (X) は
175mm となります。

※ マーカ位置が 125mm より小さい場合は取り付けできません。その場合は製品特注にて対応可能な場合がありますので、販売店にご相談ください。

- 2) 吊りボルトにマジックペンなどで、天井から X の値の位置にマーカをつけます。



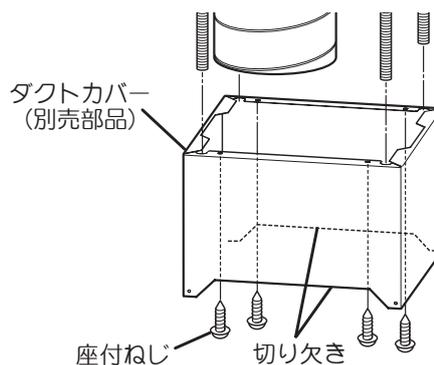
取り付けかた

2 ダクトカバー(別売部品)を取り付けます。

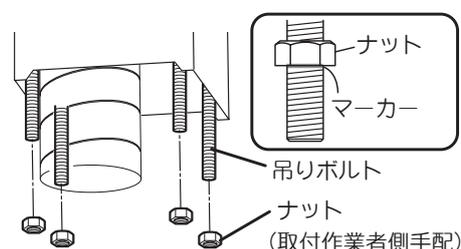
ダクトカバーを座付ねじ4本で天井面に固定します。座付ねじはダクトカバーに付属しています。

お願い

切り欠きのある面をレンジフードファン本体の前後方向にしてください。向きを間違えるとファンケースとの固定ができなくなります。



3 M10 または M12 のナット (取付作業側手配) を吊りボルトのマーカ位置までねじ込みます。



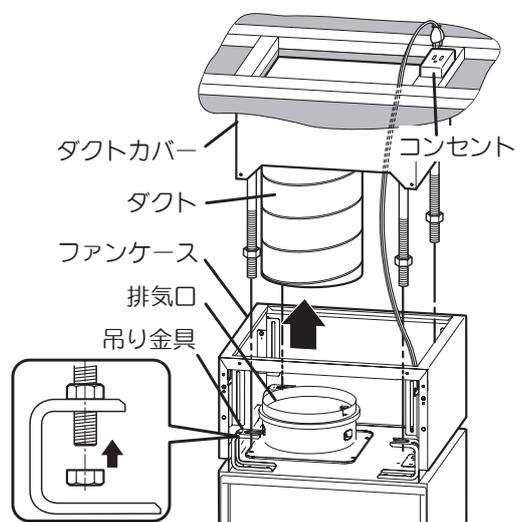
4 ファンケースを吊りボルトに固定します。

- 1) ファンケースを持ち上げて4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側から M10 または M12 のナット (取付作業側手配) をしっかりと締め付けます。

お願い

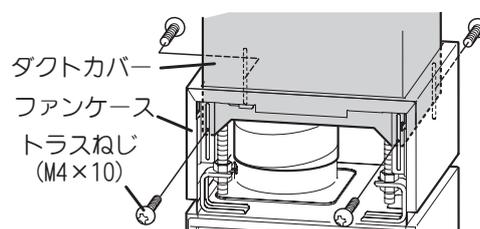
ダクトに排気口を差し込みながらファンケースを取り付けてください。

- 2) 電源プラグを天井裏などのコンセントに差し込んでください。



5 ダクトカバーとファンケースを固定します。

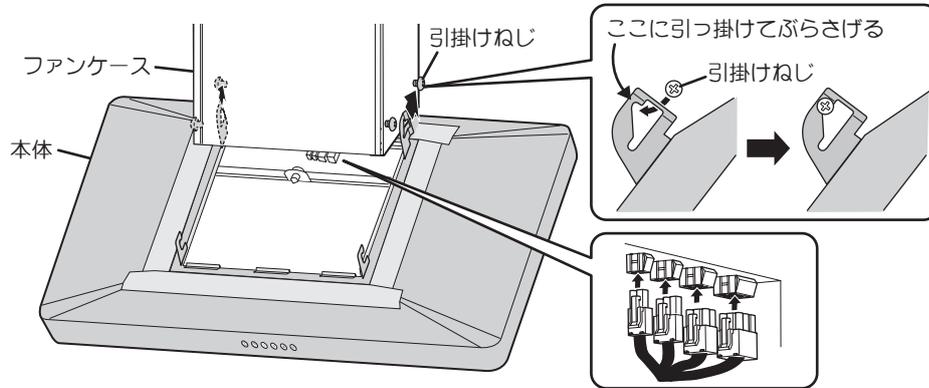
付属品のねじ (トラス M4 × 10) 4本で前後各2ヶ所を固定します。



取り付けかた

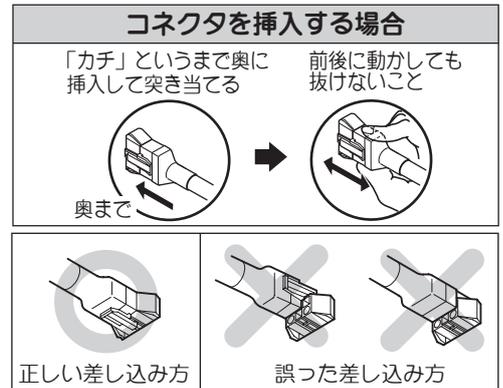
6 フードを取り付けます。

- 1) フード奥側の金具をファンケースの引掛けねじに引っ掛けます。
- 2) コネクタ4ヶ所を差し込みます。

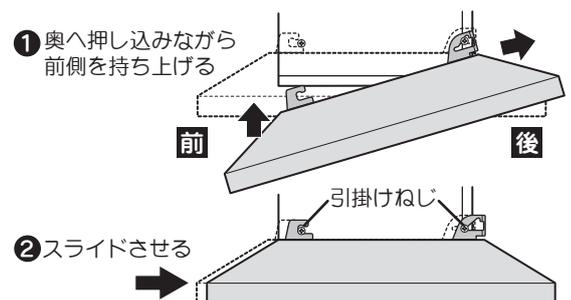


お願い

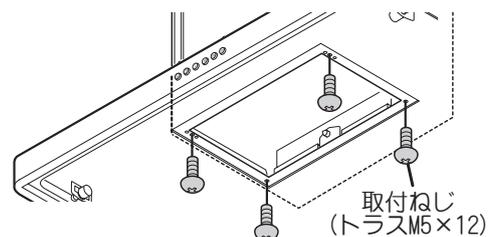
- ・ コネクタの接続は確実に行ってください。接続が不十分な場合、レンジフードファンが動作しない、発熱による故障などの原因となります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
- ・ コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合せて確実にロックしてください。



- 3) フード前側を水平になるまで持ち上げてからフードを後方にスライドさせ、フードの金具をファンケースの引掛けねじ4ヶ所に引っ掛けます。

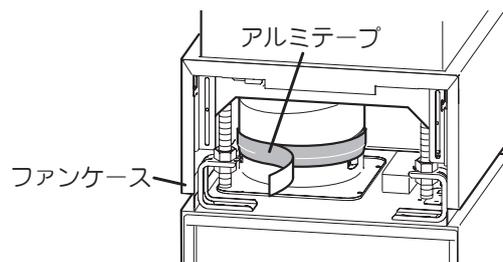


- 4) 「3. 本体の準備」の手順4にてはずした取付ねじ (トラス M5 × 12) 4本で下から固定します。



取り付けかた

7 ダクト接合部へ風漏れ防止のテーピング
(アルミテープ)を行ってください。

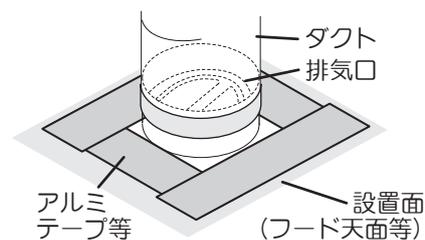


■ 排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面（フード天面等）が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。

排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）を行ってください。

漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置を行ってください。



取り付けかた

5. 電気配線

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



取付注意

- 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。
レンジフードファンが誤動作やスイッチ感度が悪くなる場合があります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

- コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。
- コンセントは、電源コードの長さを考慮して設置してください。
- 必ずアース (D 種接地工事) をしてください。
※アース線は取付作業側にて手配してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、ブレーカを「入」にします。

お願い

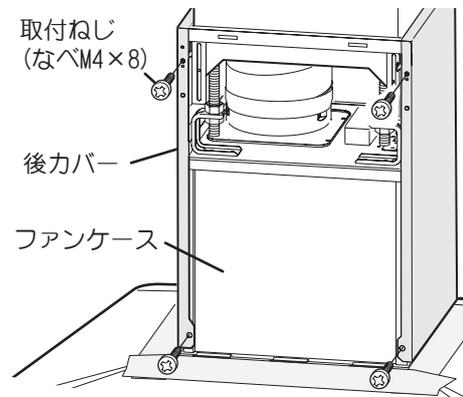
電源は専用のコンセント (2極差込接続器 15A 125V) およびブレーカを設けてください。

取り付けかた

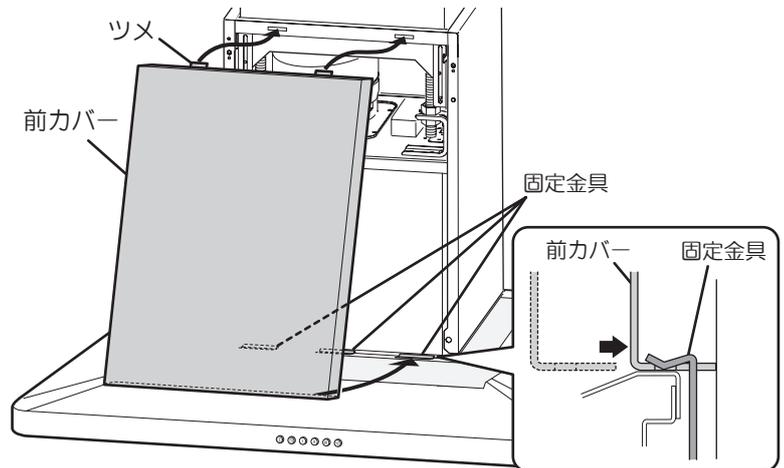
6. 運転準備

1 ファンケースに前カバー・後カバーを取り付けます。

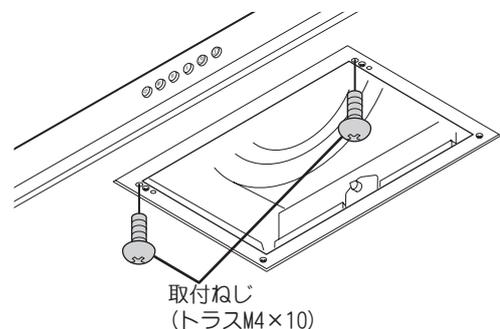
- 1) 各部品が確実に組み立てられているか確認した後、ファンケースの後カバーを「3. 本体の準備」手順3にてはずした取付ねじ(なべM4×8) 4本で固定します。



- 2) 前カバーは上部のツメ2ヶ所を引っ掛け、下側を前カバー固定金具とフードの間に挟みこみます。



- 3) フードの下側から取付ねじ(トラスM4×10) 2本で前カバー固定金具を締め付けてください。締め付け後、前カバーが確実に固定されているか確認してください。



取り付けかた

2 誘導カートリッジを取り付けます。

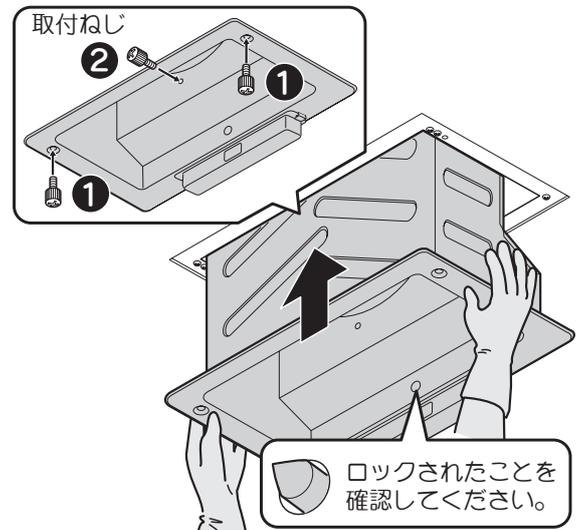
1) 誘導カートリッジを両手で持ち、開口部に差し入れます。内側奥にあるストッパーで固定されるまで、まっすぐにゆっくりと差し込んでください。

※ 誘導カートリッジがストッパーで確実に固定されたことを確認してください。

2) 取付ねじを②、①の順番で固定します。

お願い

誘導カートリッジはゆっくりと差し込んでください。
キズ・変形の原因となります。



3 整流板を取り付けます。

「3. 本体の準備」で取りはずしたときと逆の手順で取り付けてください。

お願い

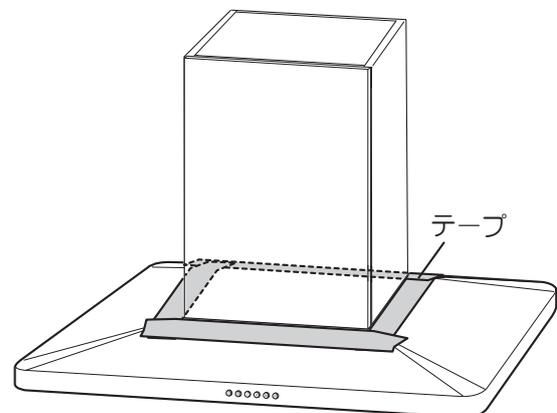
整流板の固定は確実に行ってください。
ロックが不十分ですと整流板の落下の原因となりますので、取り付け後、再確認してください。

4 フードのテープをはがします。

フードの上部に貼り付けられているテープをはがしてください。

お願い

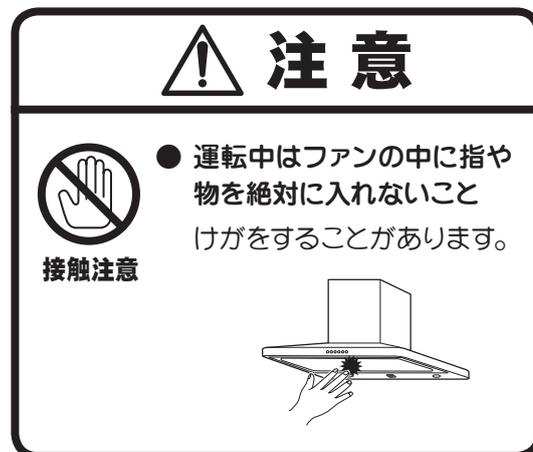
キズ、破損防止のため、はじめにはずした保護用エアキャップを再度取り付けてお客様へお引き渡しください。



取り付けかた

7. 試運転

- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは施工上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。



8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

